

安保破棄ニュース

No. 492
2018. 4. 13

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0001 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.anpo-osk.jp

国民の力で 安倍政権を退陣させよう!



2012年12月26日、第2次安倍政権が誕生しました。

安倍政権は2013年12月には国民の目・耳・口をふさぎ知る権利を奪う「特定秘密保護法」を強行。2014年7月1日には圧倒的多数の憲法学者や歴代の内閣法制局長官達も憲法違反だと指摘する中、「集団的自衛権の行使容認」と同時に「辺野古への米軍新基地建設」を始めることを閣議決定。2015年9月19日には憲法9条の下では、集団的自衛権は行使できないという、戦後60余年にわたる政府見解を180度覆して「戦争法」を強行。そして、2017年6月15日には国民の思想や内心まで取り締まる「共謀罪法」を強行しました。

どれもが憲法違反であり、どれもが「海外で戦争する国」づくりのための方策に他なりません。また同時に安倍政権は、民意をどれほど蔑ろにしてきたでしょう。

沖縄県民が、この間の国政選挙や知事選挙において圧倒的な反対の民意を示しているにもかかわらず辺野古への米軍新基地建設を強行し、未だに故郷に帰ることのできない多くの避難者をつくり、どの世論調査でも6割の人が反対する原発の再稼働に突き進んでいます。また、被爆国でありながら、国連の勧告にも応えず、核兵器禁止条約にも署名せず、北朝鮮の問題でも対話を否定する始末です。

さらに、許せないのが国政の私物化です。森友学園・加計学園疑惑は、安倍首相夫妻の「お友達」に特別の便宜を図るために、安倍政権が2014年5月に設置した「内閣人事局」が作り上げた官僚機構によって行政が歪められた国政の私物化ともいえます。もしこの疑惑が放置されるようなことになれば、



国会での強行採決

23宣伝行動

&

平和友好団体3000万署名統一行動

3月の23定例宣伝行動は、大阪平和友好団体3000万署名統一行動として行いました。

原水協、平和遺族会、平和委員会、AALA、府民要求連絡会から弁士を出してもらい訴えました。

11団体・地域と個人での参加合わせて18人の参加でした。

淀屋橋ではなかなか足を止めて署名をしてもらえないことが多いのですが、それ

でも21筆の署名が集まり、関心が高まっていると感じました。「もうやったよ」という人や「私も集めています」と声をかけてくれる人もいました。



今回は、4月23日に、大阪平和友好団体3000万署名統一行動として行います。

多数のご参加よろしくお祈りします。

つまり、ここでいう自衛隊は、日本が戦争法の「存立危機事態」にあると時の政権が判断すれば、制限のない戦力をもって集団的自衛権を行使し、海外で戦争する、文字通りの軍隊です。

しかし、いま、私たち市民と野党の共闘が、立憲主義を破壊し、民主主義・平和主義を踏みにじり、個人の尊厳を傷つけ、国政を私物化してきた安倍政権を追い詰めています。さらに危険な安倍政権の真実を伝え、3000万署名を成功させて、国民の力で彼らを退陣に追い込みましょう。



辺野古新基地建設は止められる!



キャンプシュワブ
ゲート前集会

キャンプシュワブ
ゲート前にて、米
軍基地に向けて

4月6日〜8日の日程で、安保破棄中央実行委員会の呼びかけによる「辺野古新基地反対沖縄現地4月行動」が行われました。

辺野古キャンプシュワブゲート前では連日、新基地建設反対の市民が駆け付け、抗議行動を行っています。7日は、毎月第1土曜日の集中行動日に当たって、500人が集まり、座り込みと、ゲート前デモ、集会が行われました。500人が集まれば、工事資材の搬入もなく、機動隊も出てきませんでした。人数が集まれば工事を止めることが出来ると実感できる行動でした。

大城名護市会議員からは、現在は野党となりはしましたが、14人の市会議員が基地反対を貫き、団結して新市長へ強く働きかけていることが報告されました。「辺野古新基地建設に伴う地質調査のデータの全面公開、活断層の有無、環境アセスメントの追加を求める意見書」を賛成多数で可決し、「大浦湾・辺野古の海の自然と辺野古唯一の砂浜を守ること、台風時の辺野古区を浸水被害から守り、キャンプシュワブ周辺の文化財を守ることを教育長と市長に求める決議」を全会一致で可決したことなどを話されました。この決議

文の中では、美謝川河口変更を認めず、辺野古河口と唯一の砂浜の埋め立てを認めない市長権限行使を求めています。9月の市会議員選挙で、この多数派を維持することが、とても重要であると強く伝えられていました。

集会には、稲嶺進前名護市長、赤嶺政賢衆議院議員も参加。「絶対に基地は造らせない」という意志を固め、盛り上がりました。8日には、抗議船「ウマンチュ」に乗船し、海上から基地建設現場の視察を行いました。一見すると護岸工事が進められているように見えますが、その実、貴重なサンゴの存在によって作業工程を変更せざるを得なくなったり、工事開始に伴って撤去した建物からアスベストが検出され、しばらく工事が出来なかったことなどがあつたり、様々な要因で工事を止めることが出来ています。この間、明らかになった軟弱地盤の問題では、設計変更をしなければ埋め立て工事など到底無理であることがはっきりしています。しかし、防衛局や日本政府は「現在詳しく調査中」などと言って、現時点で変更申請を出す考えはないとしています。これは、できるところから工事を進め、基地建設はもう止まらなないと、反対する市民をあきらめさせ、県知事選挙まで時間かせぎしようとしているのです。このような動きに騙されず、「辺野古新基地建設は止められる」と、確信をもって、基地建設反対の声を上げていくことが求められます。

6月1日〜3日には、「沖縄連帯のつどい&辺野古連帯行動」が、安保破棄中央実行委員会と全国革新懇の主催で行われます。大阪からも参加を呼び掛けていきますので、参加希望の方は大阪安保までお問い合わせください。

(締切：5月10日)



辺野古座り込みテント前にて



高江座り込みテント前にて

当面の予定

4月

- 14日(土)メディアを考える大阪実行委員会「これでいいのか日本のメディア(3)」(14:00~社会福祉指導センター)
「9条改憲NO!森友疑惑徹底追及!安倍内閣は総辞職を!」4・14 おおさか総がかり集会(15:00~うつぼ公園)
- 15日(日)大阪平和委員会「女性のつどい 憲法とお抹茶カフェ」(14:00~たかつガーデン 要申し込み)
- 16日(月)ヒバクシャ国際署名推進大阪の会「I CAN川崎哲さん語る」(18:30~エルおおさか)
- 18日(水)9条の会・大阪連続学習会(18:30~エルおおさか)
「憲法9条こそ平和を創る力」(川田忠明氏)
- 19日(木)大阪平和友好団体合同3000万署名行動(11:00~JR天王寺駅北口)
「9条改憲NO!森友疑惑徹底追及!安倍内閣は総辞職を!」4・19 おおさか総がかり行動(18:00~ヨドバシカメラ前)
- 23日(月)大阪安保23定例宣伝行動&大阪平和友好団体合同3000万署名行動(12:00~淀屋橋)
- 27日(金)大阪安保「沖縄連帯のつどい in おおさか」(18:30~グリーン会館)
- 30日(月・祝)大阪母親大会プレ企画(13:20~たかつガーデン)
「平和憲法を守る力、3000万署名達成を目指して」(畑田重夫氏)

5月

- 1日(火)メーデー
- 3日(木・祝)「安倍9条改憲を許さない!」5・3 おおさか総がかり集会(13:30~扇町公園)
- 9日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 12日(土)「軍学共同いらない!市民と科学者のつどいⅢ」(13:30~グリーン会館)

6月

- 1日(金)沖縄連帯のつどい&辺野古連帯行動 ~3日(日)
(全国革新懇・安保破棄中央実行委員会主催)